

宗教の行方

現代のための宗教十二講

やぎ せいいち

八木誠一 著 ▼46判・並製カバー・382頁・定価 三、五二〇円

2022年8月刊行



情報化により「生」を見失った現代。宗教は情報化されない宗教的真相を現代に通じる言葉で語る時である。宗教回復への道を示す最新講義。

【目次】

- 序にかえて——宗教の行方ということ
- 第一講 序説——問題設定と講義の内容
 - 第二講 生の表層・中層・深層
 - 第三講 用語の説明
 - 第四講 社会・コミュニケーション・エゴとニヒル
 - 第五講 言語と情報——表層批判と言語批判
 - 第六講 言語批判と宗教批判・近代批判
 - 第七講 直接経験
 - 第八講 統合ということ
 - 第九講 超越
 - 第十講 統合論とキリスト教
 - 第十一講 場所論から見た仏教
 - 第十二講 まとめ——統合作用の場と創造的空
- あとがき

◆著者略歴

八木誠一（やぎ せいいち）

一九三二年生まれ。専攻…新約聖書神学、宗教学。東京工業大学、ベルン大学（スイス、客員教授）、ハンブルグ大学（客員教授）、横浜桐蔭大学教授を経て、現在、東京工業大学名誉教授、文学博士（九州大学）、名誉神学博士（ベルン大学）。著書に『へはたらく神』の神学』『宗教とは何か』ほか多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
八木誠一著	
法藏館 定価 三、五二〇円	
宗教の行方	
現代のための宗教十二講	
ISBN: 978-4-8318-1061-8 C1014	
お名前	ご住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

宗教・哲学